

津久見市地域福祉計画

「もつなぐひろく」『つくみ』のこれから

つなぐ広げる地域の輪

津久見市福祉事務所
☎82-9519

シリーズ3

基本目標① その2

支え合い・助け合いのある
まちづくり

取り組み④

共に生きる

社会づくり



© tsukumi city

自治会や学校、社会福祉協議会、地域の福祉事業者等との連携により、各種啓発活動や人権教育・福祉教育の充実、さらには地域における多様な市民の交流・ふれあい機会の充実により、心のバリアフリーと多様性の理解を促進します。

【地域住民】

▼性別や年齢、障がいの有無、国籍などにかかわらず、地域に暮らす一人ひとりがお互いに尊重されるよう、多様性

の理解に努めます。

▼高齢者や障がいのある人に対する思いやりの心を育み、みんなが明るく暮らせる地域づくりを目指します。

【福祉事業者等】

▼高齢者や障がいのある人等の疑似体験講座など、当事者の立場を体験する機会の充実に努めます。

▼障がいや障がいのある人に対する理解を促進するため、障がい福祉サービス利用者と地域住民との交流の場づくりに努めます。

▼福祉機器を取り扱う事業者においては、ユニバーサルデザインによる製品の紹介、普及に努め、共に生きる社会づくりを支援します。

【社会福祉協議会】

▼福祉教育を推進し、様々な立場を理解する機会を提供します。

▼各種事業や講座などを通じ、「心のバリアフリー、基本的人権を尊重、共に生きる社会づくりの理念」の浸透を図ります。

【市(行政)】

▼障がいや認知症に対する正しい理解が得られるよう、地域ぐるみの啓発活動を積極的に推進します。

▼福祉教育の充実により、「心のバリアフリー、基本的人権を尊重、共に生きる社会づくりの理念」の浸透を図ります。

▼市が主催する行事にだれもが参加できるようにするとともに、障がいの有無や種別、程度に関わりなく共に集い、理解を深めることができる各種のイベント開催を推進します。

取り組み⑤

ボランティア

活動の促進



© tsukumi city

市民のボランティア参加の

機会を増やすため、ボランティア情報の収集・提供の充実を図ります。また、住民のボランティア活動への参加意欲を高めるために、社会福祉協議会と連携し、地域福祉の担い手となるボランティアリーダーを育成するとともに、現在活動しているボランティア団体等の運営支援はもとより、新しい支援ニーズに合わせた地域ボランティアの育成に努めます。

【地域住民】

▼ボランティアの重要性や、支え合いの大切さなどを積極的に話し合います。

▼地域社会の一員として、できることから、できる範囲で、ボランティア活動に参加します。

【福祉事業者等】

▼事業を通じ、福祉におけるふれあいの大切さを啓発するとともに、情報を提供します。

▼ボランティアの受け入れを積極的に行い、事業所内だけでなく、地域におけるボランティア活動にもつなげてい